

職員全体勉強会

日時：2026年1月21日（水）

講師：三井住友海上火災保険株式会社
和歌山 栄 氏

今月は



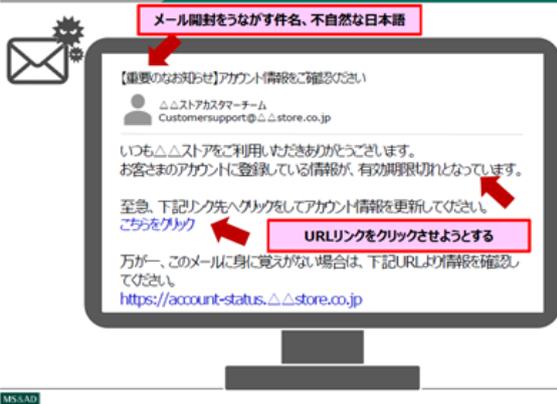
あなたも企業も狙われる！ 今すぐサイバーセキュリティ

医療機関として求められる情報保護の考え方や、日常業務の中で私たちが取るべき行動について理解を深めました。

サイバーセキュリティとは、
ネットワーク・コンピュータ・データを不正アクセスや攻撃から守り、情報の
「機密性・完全性・可用性」を維持するための取り組み全体のこと

研修の目的として、講義の冒頭、講師より次のような問いかけがありました。

このようなメールを受信したことはありませんか？



「『サイバー攻撃』と聞くと、会社の問題で自分は関係ないと思っていませんか？

被害の原因には、会社の対応不足だけでなく、従業員の“ついうっかり”もあります。だからこそ、サイバーリスク対策には“ヒトによる取組”が欠かせません。」

この言葉は、サイバー攻撃が特別な出来事ではなく、日常の小さな油断から重大な事故が生まれることを改めて示すものでした。「自分には関係ない」という意識こそが、攻撃者にとって最も狙いやすい隙となります。

- ① 許可されていないアプリ、サイトの使用は控えましょう
- ② 不審なメールを受信した際の対処方法を確認しましょう
- ③ 強固なパスワードを使用しましょう
- ④ テレワーク、移動中の接続先Wi-Fiに注意してください
- ⑤ ソフトウェアはアップデートしましょう
- ⑥ 異変に気付いたら速やかに報告
- ⑦ 取り組みを習慣化しましょう



研修内容

そして研修では、左記のポイントを中心に学びました。

サイバーセキュリティは専門職だけの仕事ではなく、職員一人ひとりの行動が病院全体の安全を左右するという視点が強調されました。不審なメールを開かない、パスワードを適切に管理する、アップデートを怠らないなど、どれも日常の基本的な行動です。

こうした“当たり前”を確実に続けることこそが、病院の安全を守る大きな力になると実感しました。

今回示された「アメパーク」の7つのポイントも、特別な技術を必要とせず、今日から実践できる内容ばかりです。しかし、簡単だからこそ後回しになりやすい部分でもあります。

研修を通じて、小さな行動の積み重ねが組織全体の安全につながるという意識を共有する重要性を改めて感じました。

本日のまとめ

アメパーク

| | | | |
|---|----------|---|-------------|
| ① | 許可されていない | ア | プリ、サイトの使用禁止 |
| ② | 不審な | メ | ールを受信した際の対処 |
| ③ | 強固な | パ | スワードの使用 |
| ④ | テレワ | ク | 、 |
| | 移動中のWi | - | Fi接続先に注意 |
| ⑤ | ソフトウェアアッ | - | ト |
| ⑥ | 報告 (ホウコ | ク |) |

みなさんの取り組みの習慣化⑦が会社を存続させます！

単なる知識の習得だけでなく、私たちの働き方や意識そのものを見直すきっかけとなりました。患者さまの大切な情報を守ることは医療者としての責任であり、信頼を守る行為そのものです。

患者さまの大切な情報を守ることは、医療者としての責任であり、信頼を守る行為そのものです。医療現場を支えているのは一人ひとりの職員であり、



“**日々の小さな注意が大きな事故を防ぐことにつながる**”と再確認しました。

今回の学びを、日々の業務に活かし、より安全で信頼される医療提供体制を築いてまいります。サイバー攻撃は決して他人事ではなく、日々の小さな注意が病院全体の安全につながるという視点を自然と再確認する時間となりました。

